

「松山市オムニバスタウン 計画」の事後評価について

平成23年 総合交通課

オムニバスタウン計画実施事業

松山市オムニバスタウン計画（平成17年3月策定）

計画期間：平成17年度～21年度 実施主体：松山市・愛媛県・国土交通省・愛媛県警・伊予鉄道㈱

●バス停の整備

利用者の多いバス停や病院に隣接するバス停に屋根やベンチを設置しました。



●バスロケーションシステムの増設

バスの運行状況をリアルタイムにお知らせするバスロケーションシステムの増設を進め、バスがいつ到着するかわからないといったイライラ感の解消に努めました。



●ICカードの導入

読み取り機にかざすだけで運賃の精算ができるICカードの導入を進めました。



●交通結節点の整備・バス路線の新設

駅へバスの乗り入れができるように、梅本駅、三津駅において駅前広場の整備を行いました。また、鉄道駅と周辺施設等を結ぶバス路線を新設しました。



梅本駅



三津駅

●道路整備・交差点の改良

道路整備や交差点の改良を促進することにより、バスの走行速度や定時性の向上に努めました。



小坂交差点



拾町交差点

●児童・生徒を対象とした環境教育

総合的な学習の時間において、「交通」と「環境」の問題を取りあげることにより、低年齢児から公共交通に興味をもってもらい、環境教育を実施しています。



●パーク・アンド・バスライドの導入

郊外のバス停に駐車場を整備し、そこから中心部まではバスを使用してもらうことにより、自動車交通量の削減に努めました。



●ノンステップバス・低公害車両の導入

乗降口の段差が小さく、乗降が容易なノンステップバスや、環境負荷の少ない低公害車両の導入を進めました。



四国初！
ひとまち・環境にやさしい
ハイブリッドノンステップバス導入



その他にも・・・

- ・快速バスの増便
- ・バス利用促進キャンペーンの実施
- ・体系的な旅客案内システムの構築
- ・公共交通優先システム(PTPS)の導入
- ・サイクル・アンド・バスライドの導入検討
- ・トランジットモールの導入検討 など

「地球にやさしい日本一のまちづくり」を基本理念とし、みなさんにバスをもっと利用してもらうための施策の実施・検討を行いました。

※オムニバスタウン事業は、交通渋滞、大気汚染、自動車事故の増加といった都市の諸問題に対し、バス交通を活用したまちづくりを通し、安全で豊かな暮らしやすい地域の実現を図ることを目的としています。

〔目的〕

「松山市オムニバスタウン計画」に基づき、平成17年度から平成21年度までの5年間バス利用促進のための様々な事業を実施した。計画年度終了後に、バス交通に関するアンケートを実施することで、事業効果について取りまとめ、今後の施策検討の材料として活用することを目的に事後評価を行った。

〔アンケート方法〕

○アンケート用紙配布場所

- ・伊予鉄バスの車内や営業所
- ・松山市障害者団体連絡協議会
- ・NPO法人 子育てネットワークえひめ
- ・愛媛大学、松山大学
- ・松山市ホームページ

○実施期間

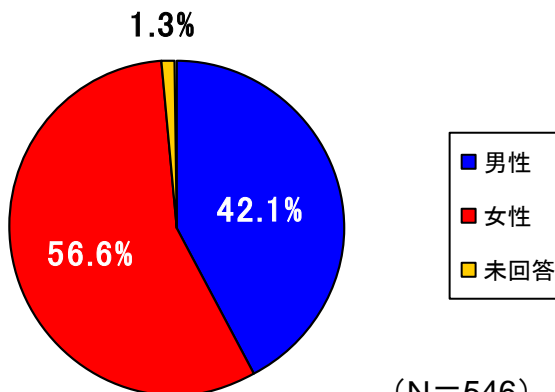
- ・平成22年7月下旬～8月末

○回答数

- ・546件

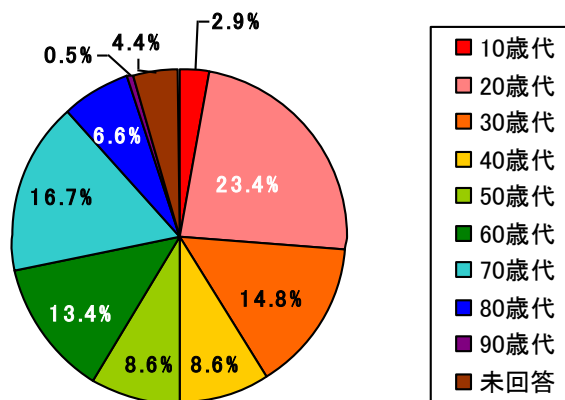
1. 回答者について

性別



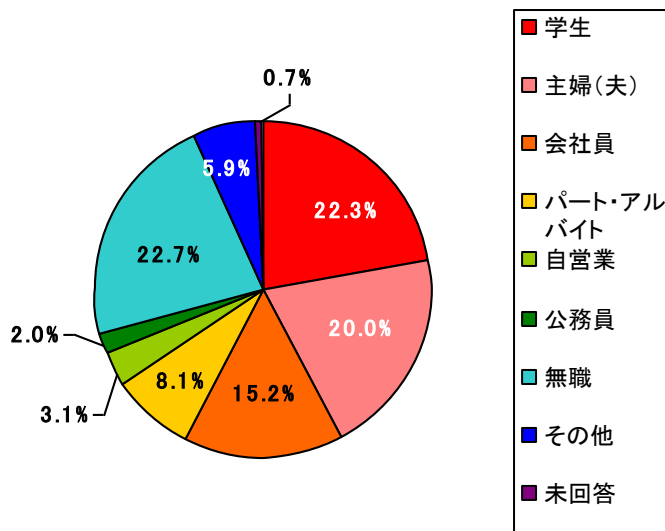
(N=546)

年齢



(N=546)

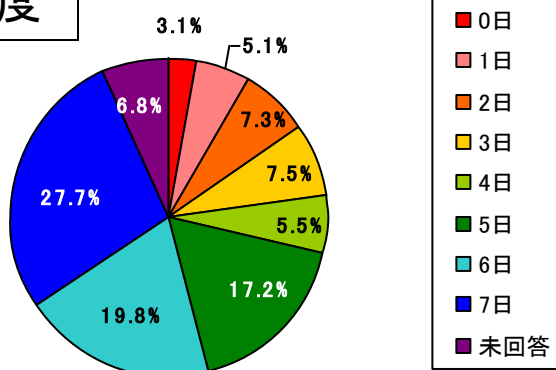
職業



(N=546)

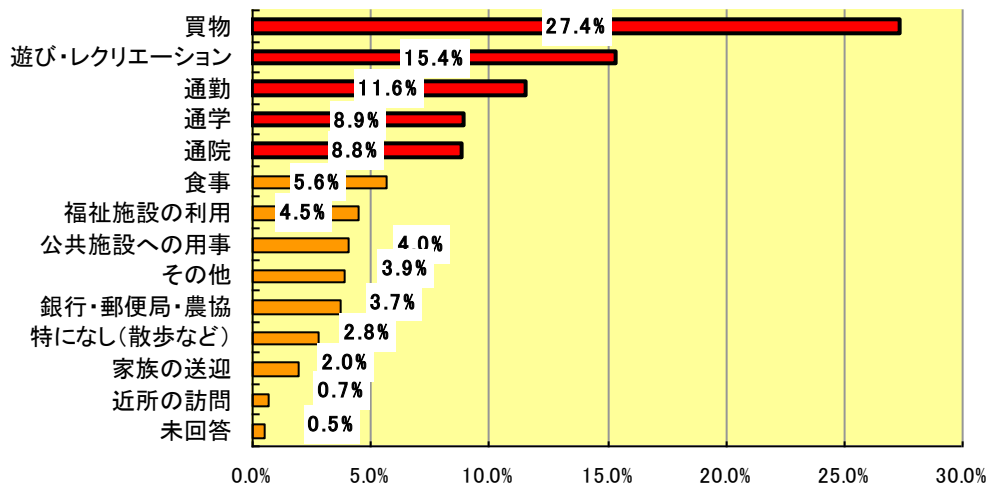
2. 普段の外出について

一週間の外出頻度



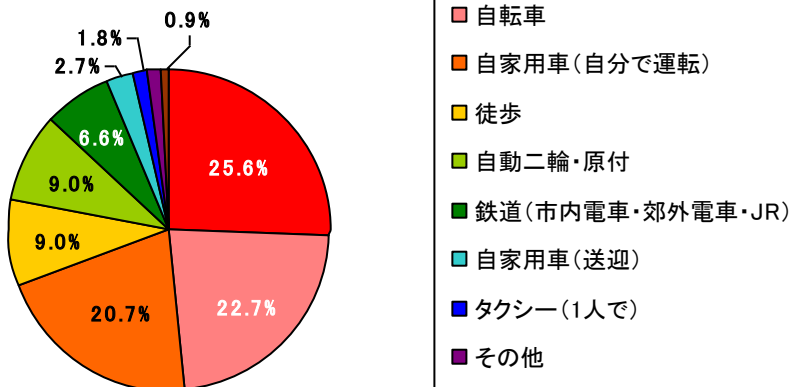
(N=546)

主な外出目的



(N=2622)

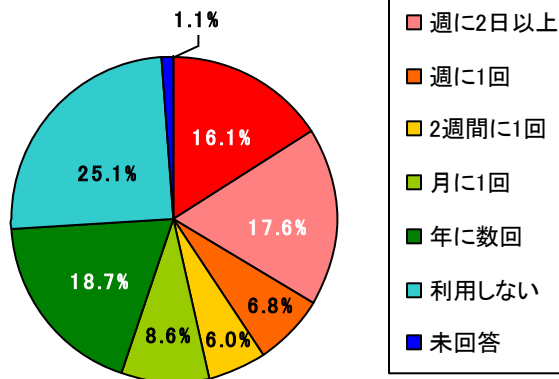
主な交通手段



(N=546)

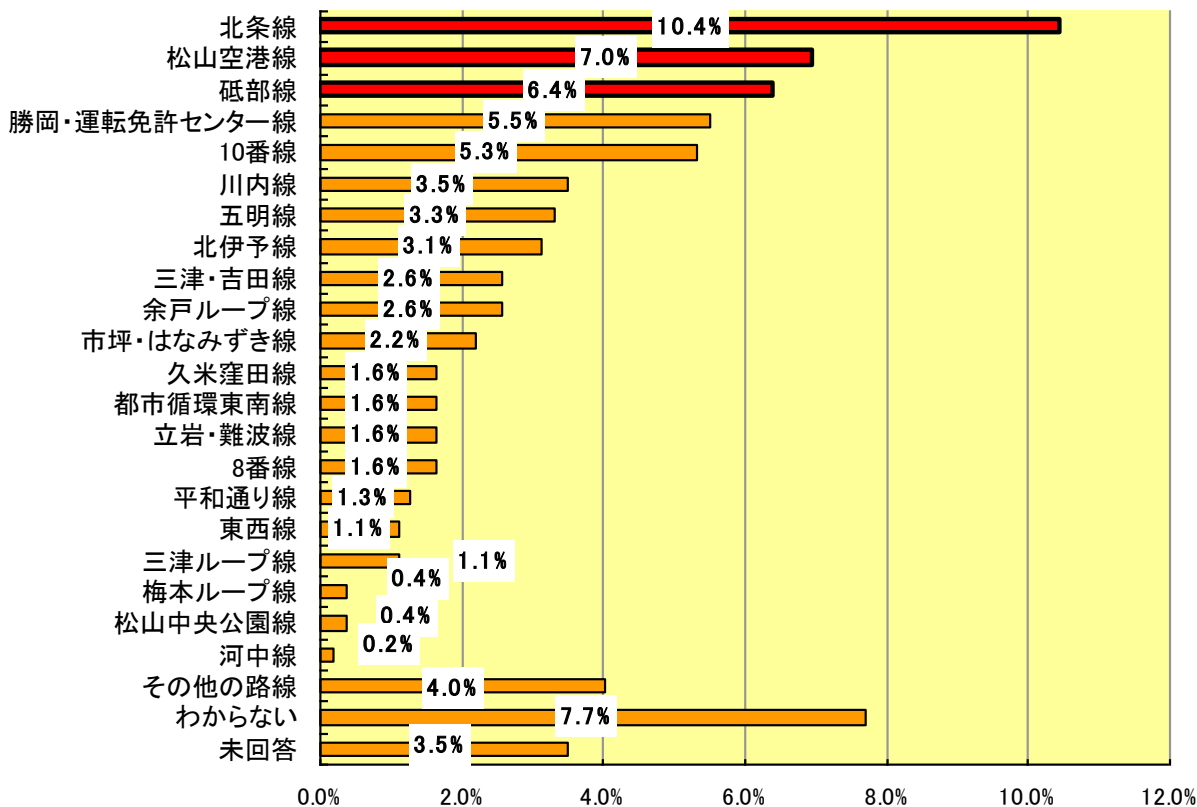
3. バスの利用状況・満足度について

バスの利用頻度



(N=546)

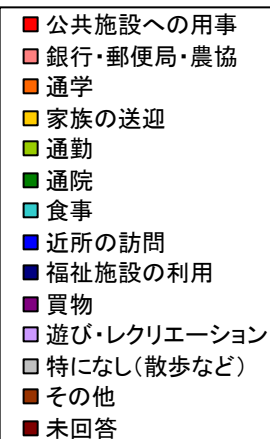
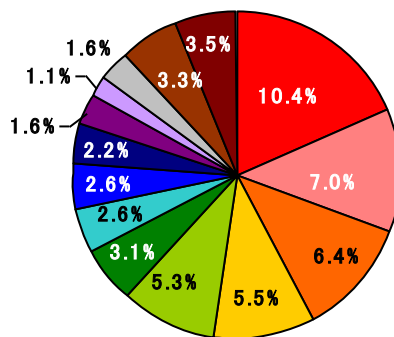
最も利用する路線



(N=426)

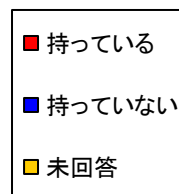
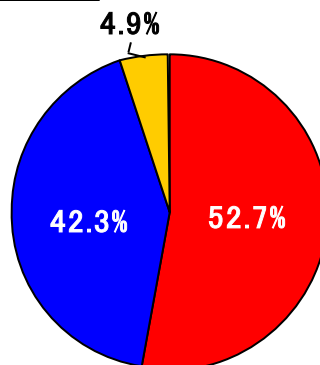
3. バスの利用状況・満足度について

バスの利用目的



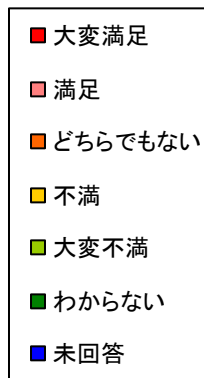
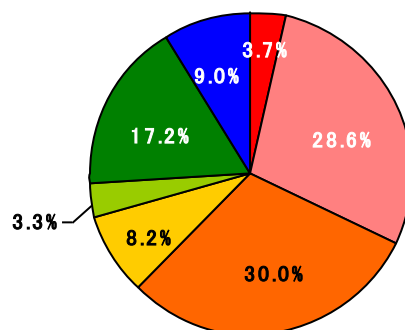
(N=307)

ICカードの所有状況



(N=546)

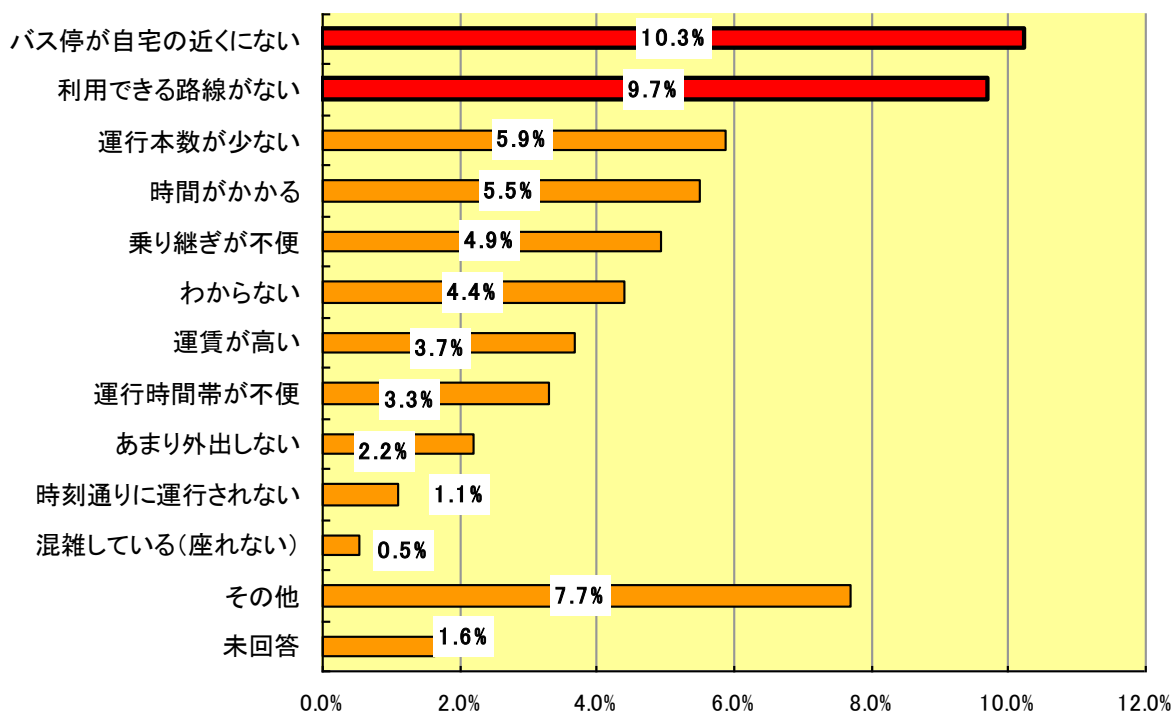
バスサービス満足度



(N=546)

3. バスの利用状況・満足度について

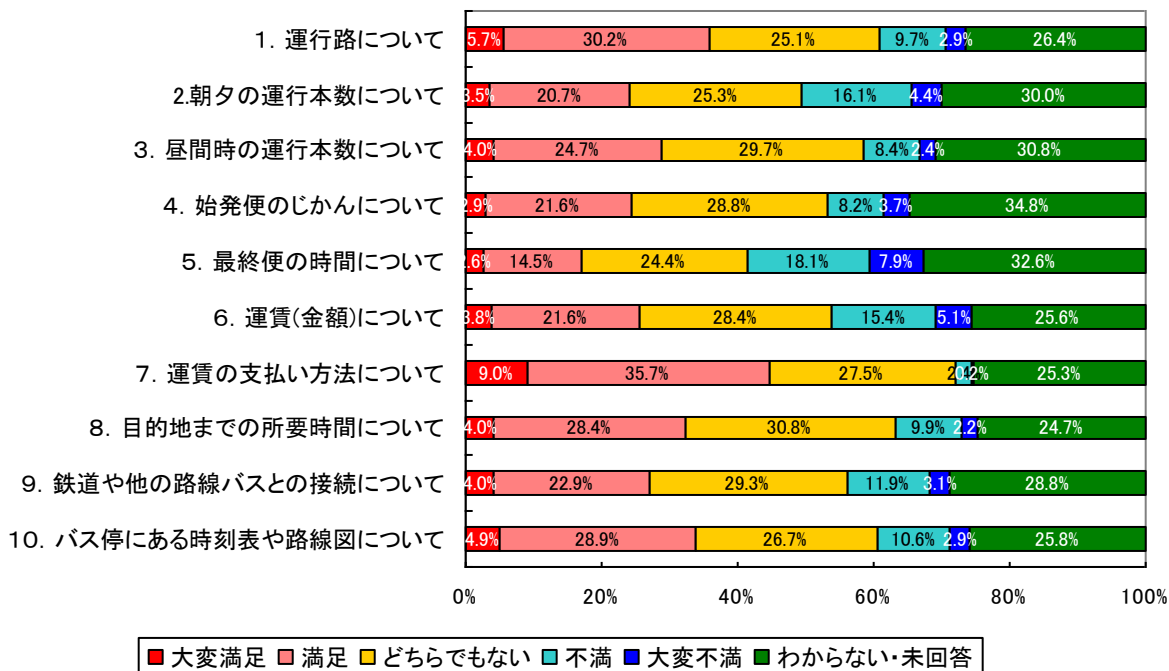
バスを利用しない理由



(N=655)

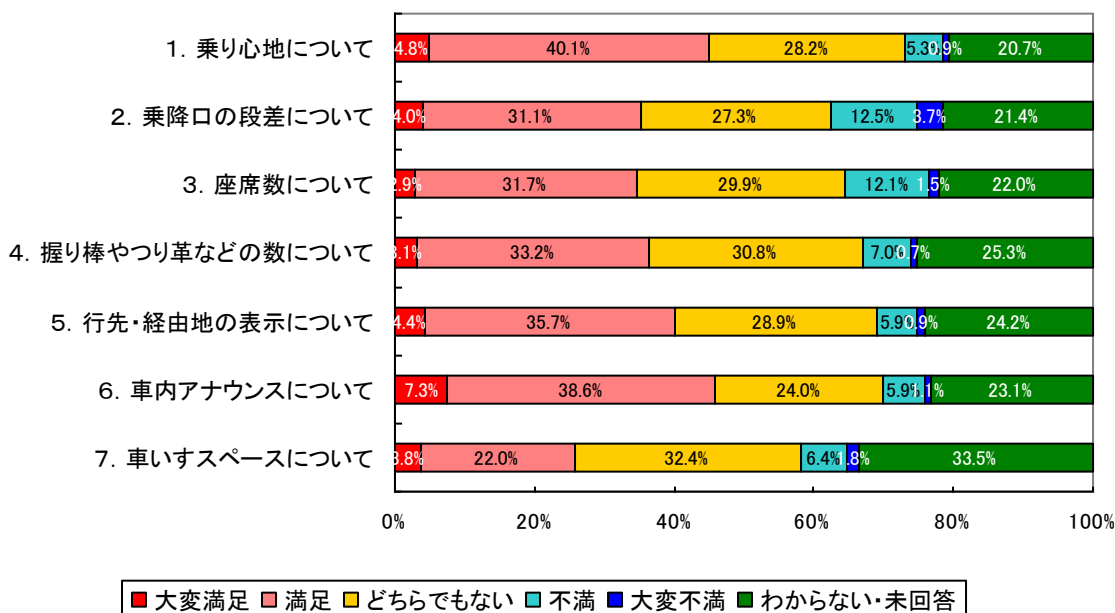
4. バスの利用の満足度について

運行形態に関する満足度



(N=546)

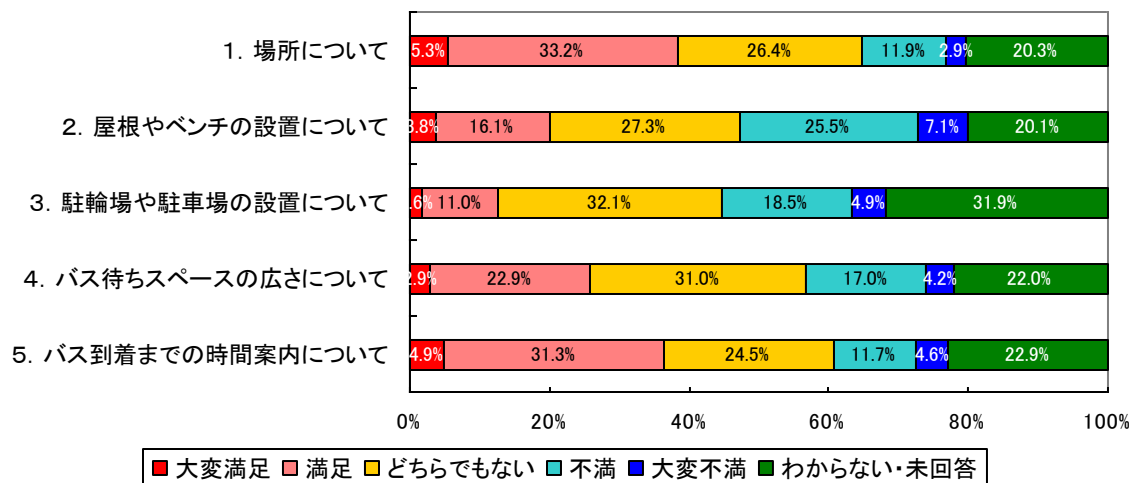
バス車両に関する満足度



(N=546)

4. バス利用の満足度について

バス停に関する満足度



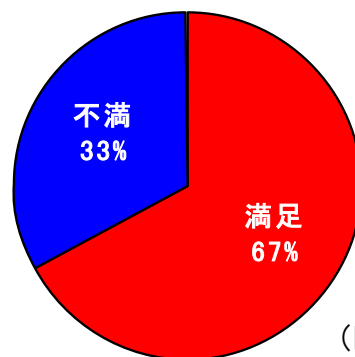
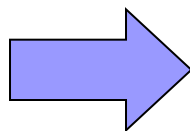
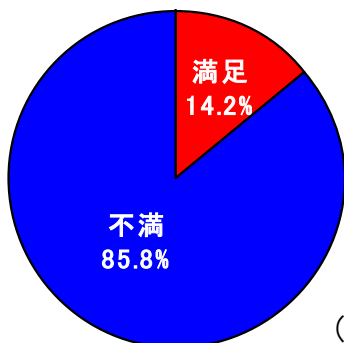
(N=546)

5. バスに対する満足度の変化

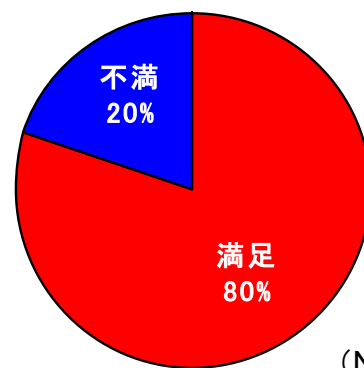
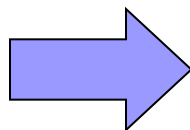
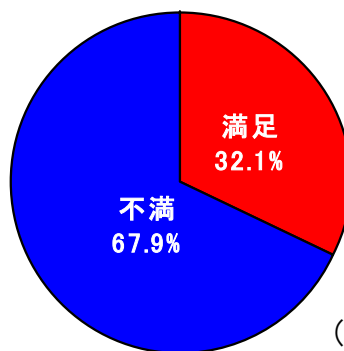
H16

運行形態

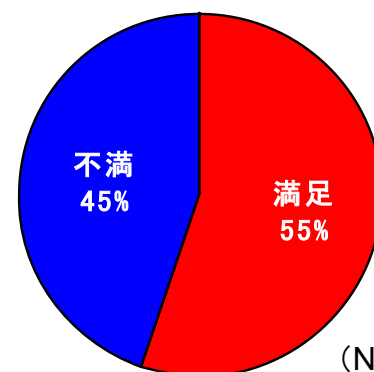
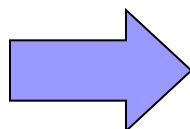
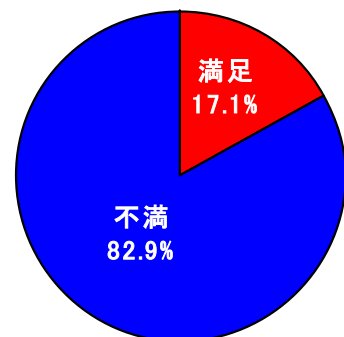
H22



バス車両



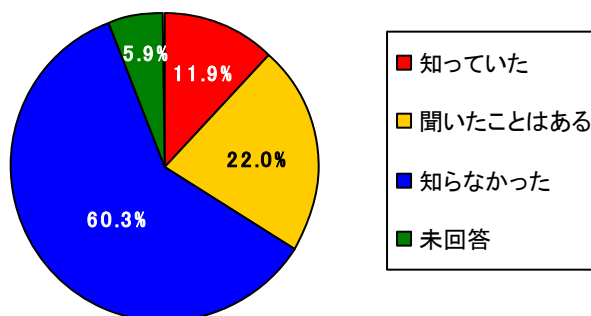
バス停



どの項目も平成16年の調査より、大幅に満足度が高くなっている。
特に、バス車両について満足度が高くなっている。

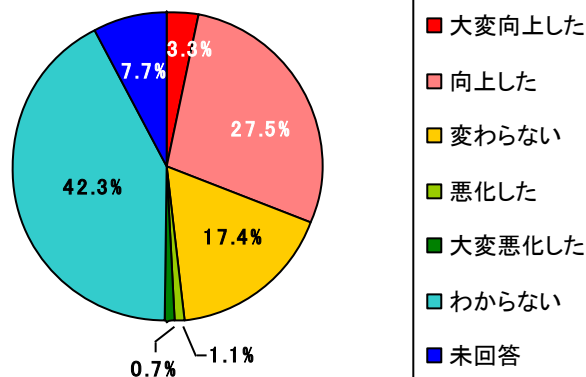
6. オムニバスタウン計画について

オムニバスタウン計画について



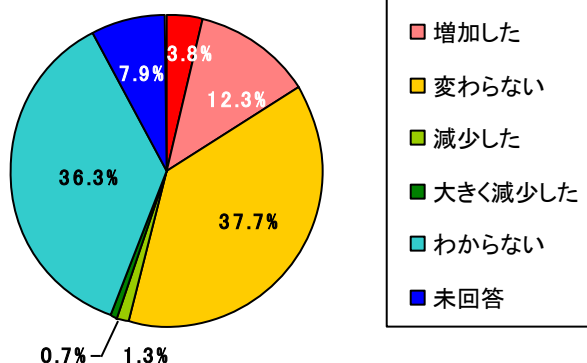
(N=546)

バスサービスは向上したか



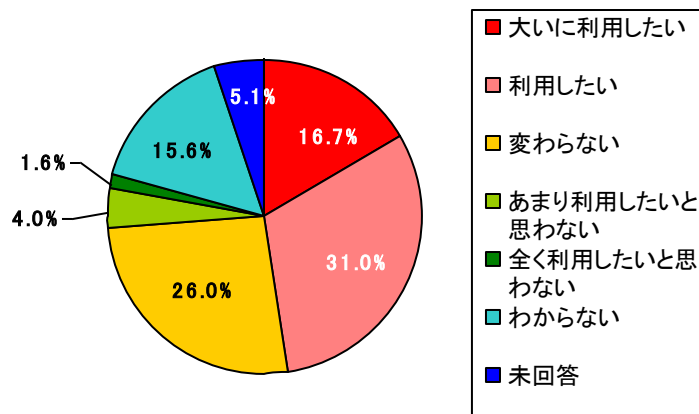
(N=546)

バス利用は増加したか



(N=546)

今後もっと利用するか



(N=546)

自由意見

- 夜行バスをもう少し増やしてほしい。
- バスの便数が増えると嬉しい。
- 運賃を安くしてほしい。
- バス停に屋根がほしい。
- 運転手の案内が親切でよかった。
- 定期など各種割引をもっと充実させてほしい。
- 最終便の時間をもっと遅くしてほしい。
- 運賃表等もう少し分かり易くしてほしい。

まとめ

- オムニバスタウン計画について、「知っている」と回答した人は1割ほどであったが、平成17年よりもサービスが改善したと全体の約3人に1人が感じている。
- バスサービスは改善しているが、バス利用が増加した人は1割にも満たず、今後は、市民がバスをもっと使うよう、意識改善等を促す必要がある。
- バス停に関する不満が高く、今後、屋根やベンチのある、バスの待ち時間をもっと有意義に過ごせるようなバス停を整備していく必要がある。